



SDGs リテラシーが高く

学生が積極的に SDGs 課題を解決できる社会を形成



■チーム名

桃山学院高等学校 Pesca

■チーム紹介

私達は世界の SDGs 課題達成度を知る機会を作り、SDGs 解決につなげるために「教育」と「企業」の関係性に注目し、より効果的な課題解決の方法について考えます。

■私達が目指す未来の地球(実現したい内容)

2021年8月にz会グループの増進会ホールディングスで実施されたアンケートによると、学校でのSDGsを取り扱った授業はどのような内容の授業ですか。という質問に対し課外活動があり企業や地域と関わり合いながら学ぶと答えた中高生保護者の割合は7.5%、小学生では5.5%という結果だった。最も割合が多かったのは学校の先生が指導する授業で小中高で約7割を締めていた。

そこで私達は、現在の課題である座学中心の授業スタイルではなくもっと積極的に行動に移していくということを重視し、SDGsを取り扱う授業での課外活動(実践)の割合を50%まで向上させることを目標とする。

■どのように実現するか

企業と学生と官公庁の密接なつながりを実現する組織”CCF(Connections to Create Future)”を作る。

CCFとはSDGs課題の解決に積極的な高校と企業と官公庁によって作られた組織のことで、高校だけ、企業だけ、官公庁だけでは実現しづらいことなどを協力して行なうことでより効果的な課題解決を促すことを目的とする。CCFでは課題解決のための取り組みを提案し合い、実践していく。また、CCF全体でのボランティア活動の実施、CCFに加盟する企業で行われている企画開発会議へ学生が参加したり、官公庁と協力して新しい法律の制定などの提案を行なう。

■実現した際の効果

SDGsリテラシーが高く、学生が積極的にSDGs課題を解決できる社会を形成できる。

(ここで言うSDGsリテラシーとはSDGsに関する知識を持っているだけでなく、行動する力も含めた能力のことを指す)

学生が自分でも世界を変えられるということを実感できる機会を作る。